



周期的ホルモン補充療法について

● 周期的ホルモン補充療法とは？

- 卵巣機能や卵巣を調節する下垂体機能が低下すると、排卵が停止して月経が不順になります。この状態が続くと、**エストロゲン** (卵胞ホルモン) 不足により**骨粗鬆症**や**高脂血症**など更年期障害の徴候が現れたり、子宮体癌のリスクが高まったりします。周期的ホルモン補充療法は、女性ホルモンを補充して定期的に月経を起こす治療です。
- 排卵は止まりますので、すぐに妊娠を希望する方には行いません。

● ホルムストロム療法

- 月経を起こさせるために必要な**プロゲステン** (黄体ホルモン) を補充する方法です。
- 卵巣からエストロゲンがある程度分泌されている**軽症の排卵障害**や**多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS)** が適応です。
- プロゲステン製剤を月経周期の14日目頃に筋肉注射するか、14日目頃から10日間服用します。注射から10～12日後、または内服終了3～4日後に月経が起こります。

● カウフマン療法

- **エストロゲン**と**プロゲステン**の両方を補充する方法です。
- 卵巣からのエストロゲン分泌が足りない**重症の排卵障害**や**卵巣性無月経**が適応です。
- 卵巣性無月経では、治療中や治療終了後に眠っていた卵巣が働き始めることがあり、排卵誘発を目的として行うこともあります。
- エストロゲン製剤を月経周期の5日目頃から20日間使用し、後半の10日間にプロゲステン製剤を併用します。両方を使い終えて数日後に月経が起こります。筋肉注射を月に2回行う方法もあります。

● 低用量ピル

- 月経痛や過多月経、月経前症候群などの症状がある方、男性ホルモンが高い多嚢胞性卵巣症候群、避妊を希望する方には「低用量ピル」をおすすめします。

